



KYOTO UNESCO ASSOCIATION

京都ユネスコ協会

京都ユネスコ協会ユースセミナー

平和で持続可能な社会を実現するために、私ができること

平和で持続可能な社会を実現していくために何ができるか、これからの時代をどのように生きていくか、ユース（高校生や大学生たち）とともに学び合う機会をつくります。

今回は、国連や国際 NGO の職員としての経験を重ねてこられ、グローバル・タックスなどを通じた世界政府構想を提唱されている上村雄彦氏（横浜市立大学教授）をお招きします。その前段では、ユースによる活動の報告を受けながら交流する会も持ちます。

日時：2025 年 6 月 15 日（日）

会場：同志社大学 新町キャンパス 新創館（26 棟）1 階 アカデミックプラザ （次頁地図参照）

参加費：無料。どなたでもご参加いただけます。お誘いあわせのお越しください。

主催：京都ユネスコ協会 協賛：同志社大学の学生サークル等を予定

プログラム

第Ⅰ部 ユース報告会 13：20～14：20

- ・アジアユネスコ協会クラブ連盟（AFUCA）ユースフォーラム、参加報告
京都ユネスコ協会ユース会員 松山和葵さん（同志社国際高校）
- ・活動報告「自分が生まれ育った地域からできること」
京都ユネスコ協会ユース会員 岡田明子さん（同志社大学 4 年生）
- ・「パレスチナ展」報告と展示
ユネスコスクール・京田辺シュタイナー学校（高等部有志）

ほか

第Ⅱ部 講演と質疑応答 14：30～16：30

演題「平和で持続可能な社会を実現するために、私ができること/国連職員、そして…」

ゲストスピーカー：上村雄彦氏/横浜市立大学教養学部教授

プロフィール：三重大学、大阪大学、カールトン大学で学び、博士号取得。専門はグローバル政治論。国連食糧農業機関（FAO）住民参加/環境担当官、NGO、シンクタンク等で経験を積む。世界を取り巻くグローバル化への考察とともに地球福祉の観点から持続可能な地球社会の

あり方を模索し、具体策としてのグローバル・タックスなどの研究を行う。著書に、『グローバル・タックスの可能性』（ミネルヴァ書房）、『不平等をめぐる戦争』（集英社）、『グローバル・タックスの理論と実践』（日本評論社）などがある。

＊第Ⅱ部が終了後、京都ユネスコ協会の定例総会が予定されています。こちらは当協会の会員のみの参加となります。



＊地下鉄「今出川駅」北改札口②番出口を出て、街中を西へ徒歩５分で新町キャンパス。新創館（26番）は正門を入れて右手の奥へ回り込んで下さい。同志社大学今出川校地には、今出川キャンパスとは別に新町キャンパスが離れた街中にありますので、ご注意ください。